

# 城東支所

都産技研には、本部、多摩テクノプラザのほか、城東支所・墨田支所・城南支所と3つの支所があります。それぞれの支所の特徴や行っている支援・サービスについて紹介します。

リポーター 技術支援係長 秋山 正

## ■城東支所とは

城東支所では、(公財)東京都中小企業振興公社城東支社と協力して、城東・城北エリアを中心とする中小企業への支援を行っています。機械加工、精密測定、工業デザイン、電気・電子、化学などの幅広い技術分野をカバーし、ものづくり企業の製品開発・事業化支援、また製品の企画、デザイン支援、試作、開発支援まで一貫したサービスを行っています。



城東支所(外観)

## ●城東支所が実施した共同開発の事例紹介

### 金属加工と伝統の技のコラボが生み出した 「KATAGAMI METAL」

城東支所では企業との共同開発や企業同士のマッチングも行っていますが、その事例として、金属加工の技術と、伝統工芸である江戸小紋とのコラボレーションによって生み出された「江戸型紙 KATAGAMI METAL」をご紹介します。

### 「会社をデザインする」ことからスタート

(株)浅川製作所の飯島さんが、城東支所へデザインについて相談に来所されたのが、お付き合いの始まりでした。いろいろお話するうちに、浅川さんの製品を見に行こうということになって拝見したところ、多くの製品がある一方で、会社のブランドイメージをデザインできていないのでは、という印象を持ちました。そこでまず会社のイメージアップを図ろうということになったのです。その中で、金属商品をシーズとした商品開発に携わりました。

### もともとある加工技術に着目、新たな商品開発へ

当初は、なかなか商品開発が進まなかったのですが、会社にもともとあるダイカストの加工技術を、今までにない新しい製品づく



「亀甲に桜」など江戸小紋が刻まれた「KATAGAMI METAL」製品

りに生かせないと飯島さんが気付いたことが、「KATAGAMI METAL」に結実しました。ダイカストに江戸小紋の細工を施した「手ががみ」や「宝物入れ」づくりを思い立ち、区の産業フェアを通じて親しくなった江戸小紋の型紙職人 矢田幸蔵さんにご相談したところ、快く開発にご協力してくださったのです。

### 共同開発に携わった全ての人がハッピーに

「KATAGAMI METAL」は、型紙のデータをつくり、エッチングの会社に依頼して、0.02ミリ掘り下げてめっき仕上げにしたものですが、想像以上のできばえに矢田さんも感心されていました。矢田さんにとっては、「KATAGAMI METAL」に合った新柄の開発、飯島さんにとっては着物という新規ルートの開拓、城東支所にとっては製品化事例としての成果となり、関わった全ての人々がハッピーという結果を生んだ共同開発となりました。



(左)株式会社浅川製作所 課長 飯島 浩さん  
(右)矢田型紙店/東京都優秀技能者/葛飾区認定伝統工芸士 矢田 幸蔵さん



### 秋山係長のコメント

城東支所は、電気や化学なども含めて幅広い分野で対応していますし、小規模でも一通りのことができ、小回りが利くという点で本部にはない強みもあります。中小企業の皆さんには、困ったことがあったら、まず来ていただきたいと思います。